

平成30年度宇宙教育シンポジウム 相模原 H31.3.2~3

あなたの考える
「宇宙教育」とは？

島根大学教育学部 香川奈緒美

E-mail : kagawa@edu.shimane-u.ac.jp

「宇宙教育」：何をもって成功とするか

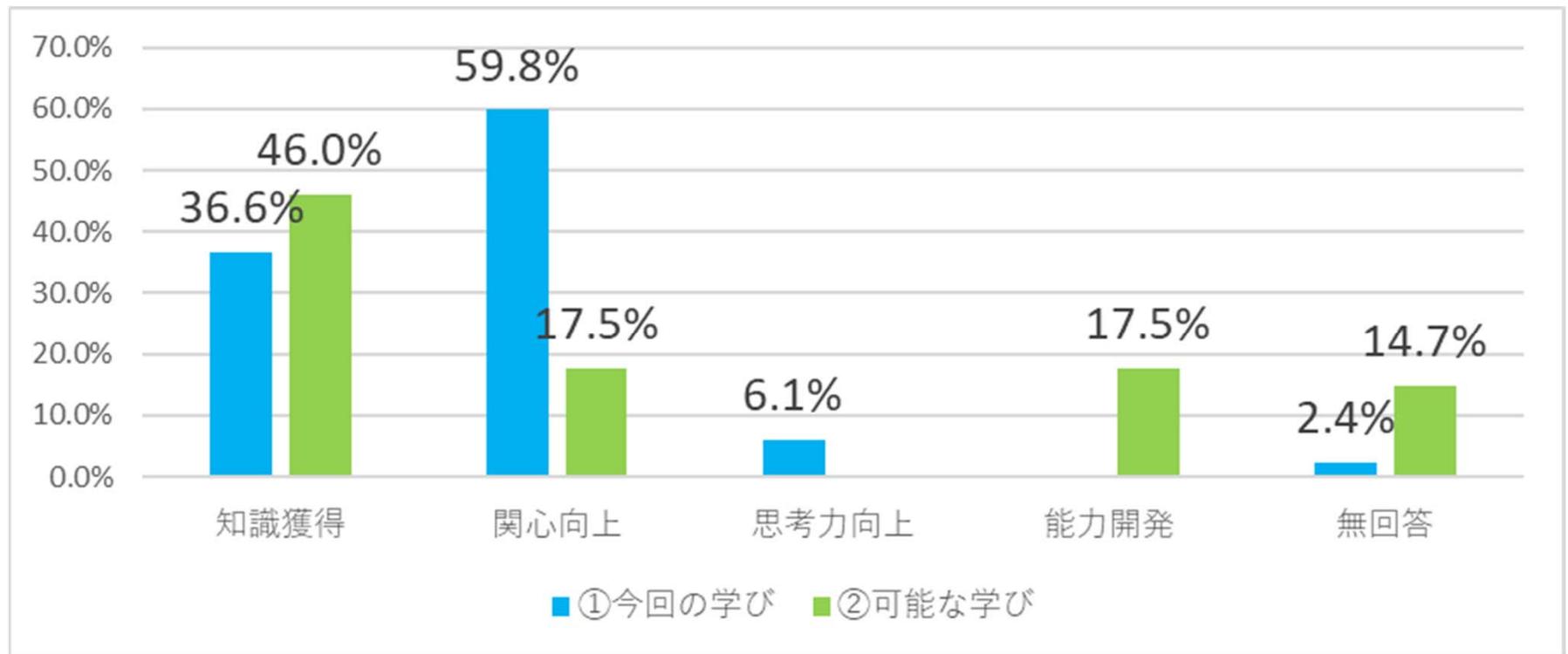
→ 達成目標 を明確に

宇宙教育

①どのような学びがあったか

②どのような学びが可能か

回答者 中学校5校、教師83名



我々の「宇宙教育」実践の目的を再確認

確認事項 ①

体験・活動 から 教育 へ

「宇宙教育」のめざすもの

- 自律・主体・継続
- 多角的なもの見方
- 自主的に学ぶ力
- 探求心・冒険心
- 匠の心

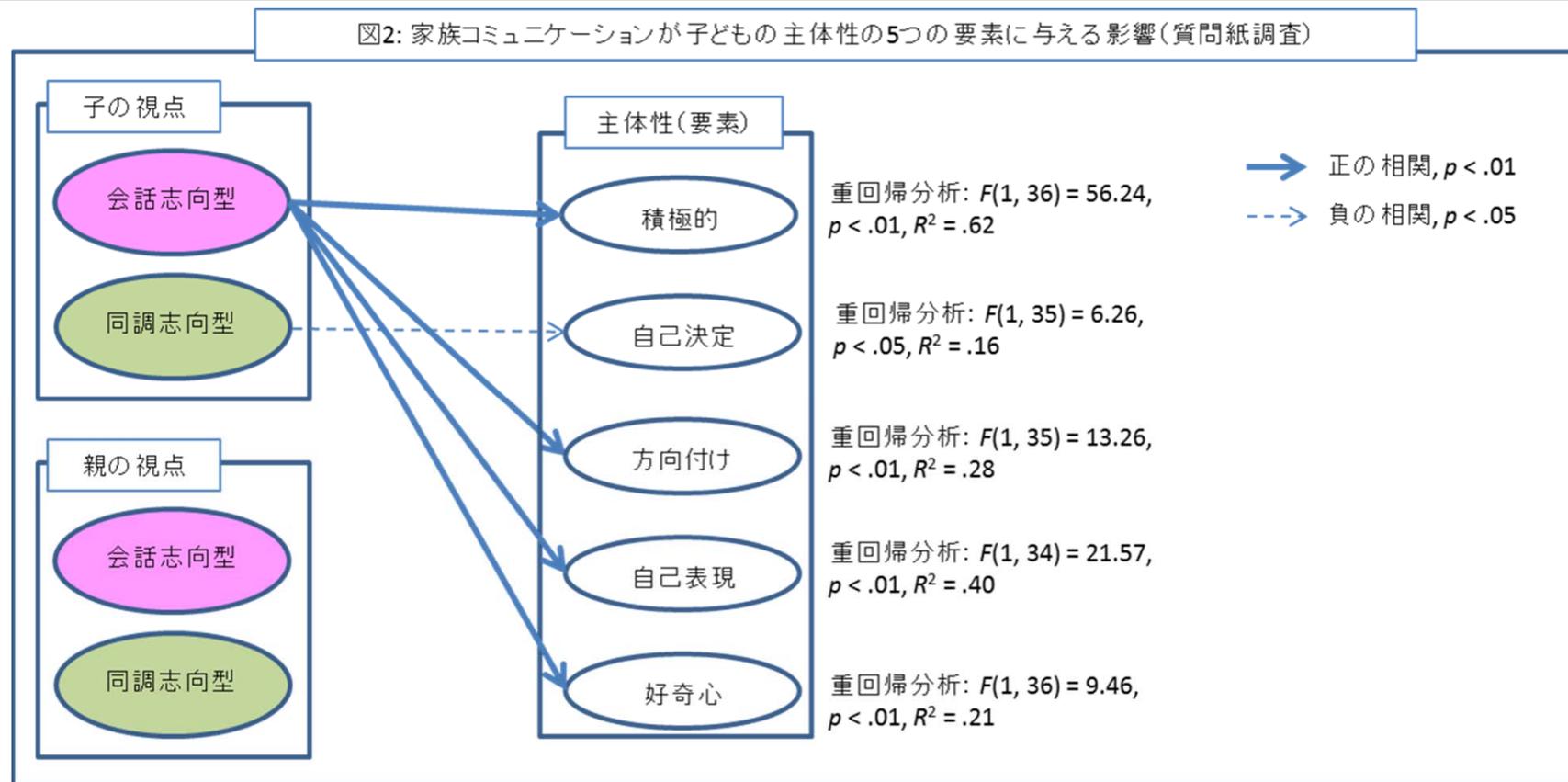
主体性

思考力

継続性

子どもの「主体的+継続的な思考と学び」

教育者として何ができるのか



子どもの「主体的+継続的な思考と学び」

教育者として何ができるのか

図2: 家族コミュニケーションが子どもの主体性の5つの要素に与える影響(質問紙調査)

子の視点

主体性(要素)

『考える』『意見を持つ』
が重要視される環境づくりを

同調志向型

好奇心

重回帰分析: $F(1, 36) = 9.46$,
 $p < .01$, $R^2 = .21$

, $p < .01$

, $p < .05$

我々の「宇宙教育」実践の目的を再確認

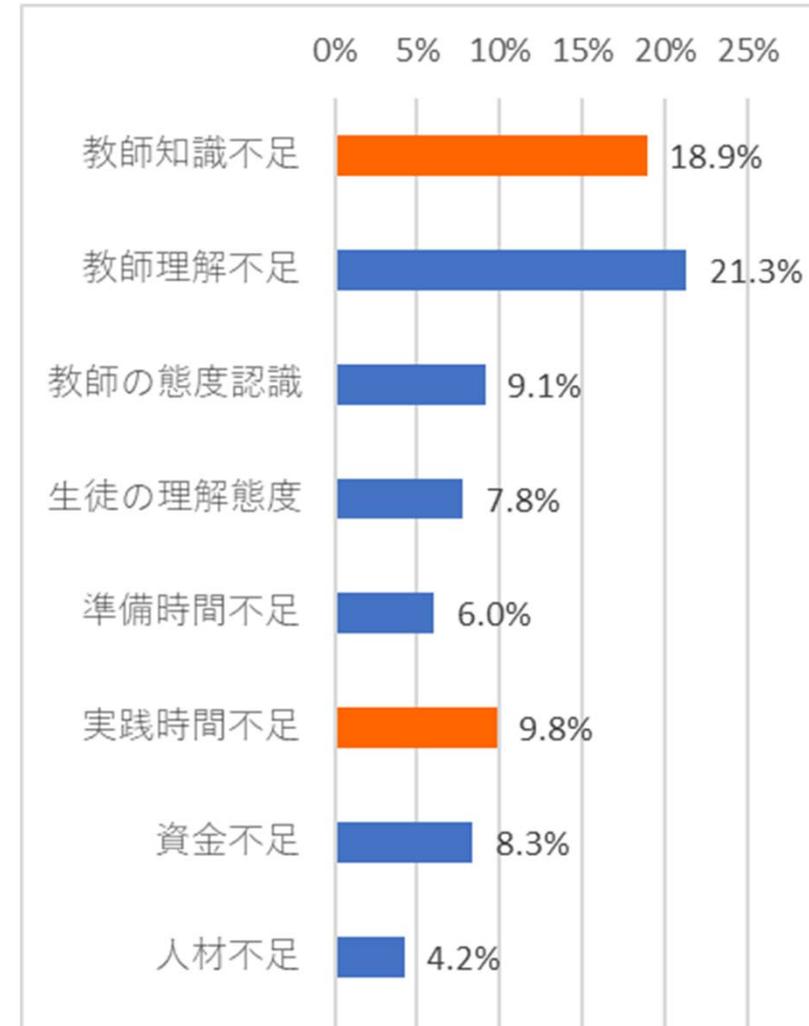
確認事項 ②

教科・分野としての「科学」から

思考プロセスとしての「科学」へ

「宇宙教育」の障害と認識されることから

- 理科・宇宙の高い知識が不可欠だと感じている
- 新たに時間を割く必要があると感じている



思考力の向上：なぜ「宇宙」か？

- 「未知」「未来」

